

信濃毎日新聞 19-22面
 総合・国際 英首相、10月末のEU離脱断念 4面
 スポーツ 小平 摺るがず10度目V 13面
 特集 「信州の名工」に13人 27面
 社説 経産相の更迭／ハンセン病補償 5面

東 信 来年のコメ作付け懸念
 北 信 きょうから被災車調査
 中 信 日韓高校生交流深める
 調 訪 高校生イルミ装飾担当
 飯田伊那 豊丘の桃の発泡酒完成
 地域ニュース28-31面

2019年(令和元年)

10月26日

土曜日

台風19号 関連記事

大規模災害復興法を適用 2面
 学びの場復旧 課題山積 3面
 復旧の人手不足深刻 6面
 洪水詠んだ一茶の句被災 36面
 観光への追い風 期待 37面
 写真グラフ34面 7面にも

台風19号 生活情報 35・地域面

東北信の災害ごみ受け入れ 中南信の4団体検討



被災地通り金沢へ
 台風19号の影響で浸水した長野新幹線車両センター（右）の横を通過する長野発金沢行き北陸新幹線の始発列車「はくたか」。東京—金沢間の全線直通運行が13日ぶりに再開した=25日午前6時15分、長野市赤沼 【記事37面】

東北信地方が被災した台風19号で発生した災害ごみについて、中南信地方ごみ処理を担う一部事務組合や広域連合のうち、松塙地区広域施設組合（松本市）、湖西行政事務組合（岡谷市）、北アルプス広域連合（大町市）、糖高広域施設組合（安曇野市）が受け入れる方向で検討していることが25日、分かれた。各体とも今後、具体的な調整を進める。

県は焼却施設を持つ中南信の広域連合など8団体に災害ごみの受け入れが可能かどうかを照会。受け入れ可否の情報が被災自治体に提供された。県資源循環推進課は「今後は被災自治体が中南信の団体と協議し、受け入れを打診する」としている。

上伊那広域連合（伊那市）も照会を受けている。

東 信 来年のコメ作付け懸念
 北 信 きょうから被災車調査
 中 信 日韓高校生交流深める
 調 訪 高校生イルミ装飾担当
 飯田伊那 豊丘の桃の発泡酒完成
 地域ニュース28-31面

あづさ28日から運行再開

中央東線 全区間通常ダイヤに

JR東日本は25日、台風19号の影響で12日以降、運転が続いている中央東線の特急あづさについて、28日の始発から全線で通常運行を再開する発表した。指定席の販売は26日午前11時に始める。中南信地方から首都圏へのアクセスは不便な状況が続いているが、2週間余りの運休を経て解消されることになる。

【関連記事37面】

台風19号による記録的な大雨の影響で、中央東線は線路内に砂が流入して大月（山梨県大月市）—高尾（東京都八王子市）間で運転できなくなった。徐々に復旧を進め、

は上りが午前6時25分松本発下りが同7時5分復元。台風で被災した県内のJR線は、小海線が小海—野辺山（小淵沢間は本数を減らして運休しており、野辺山—原市）—高尾間の上り線で復元のめが立った。これまでに遅延や止まらなかった。夜までに遅延や止まらなかった。これで中央東線は、普通も含め全区間、通常通りのダイヤに戻る。特急あづさの始発

県内は25日、低気圧が本州沖で北東に進み暖かく湿った空気が入り込んだ影響で雨となり、警戒を強めた。長野市は同日、千曲川の水位が上昇するのを見越して、警戒を強めた。千曲川は、これまでに降った雨で河川の水位が上昇することを見つけて浅川の水が流れ込みやすいふれる内水氾濫を防ぐため、複数のポンプ車を置いて排水を備えた。同日午後には市防災メールなどで「再び内水氾濫が発生する恐れがある」として支流の浅川との合流点付近にある排水機場（ポンプ場）に担当署を

は上りが午前6時25分松本発下りが同7時5分復元。台風で被災した県内のJR線は、小海線が小海—野辺山（小淵沢間は本数を減らして運休しており、野辺山—原市）—高尾間の上り線で復元のめが立った。これまでに遅延や止まらなかった。これで中央東線は、普通も含め全区間、通常通りのダイヤに戻る。特急あづさの始発

は上りが午前6時25分松本発下りが同7時5分復元。台風で被災した県内のJR線は、小海線が小海—野辺山（小淵沢間は本数を減らして運休しており、野辺山—原市）—高尾間の上り線で復元のめが立った。これまでに遅延や止まらなかった。これで中央東線は、普通も含め全区間、通常通りのダイヤに戻る。特急あづさの始発

は上りが午前6時25分松本発下りが同7時5分復元。台風で被災した県内のJR線は、小海線が小海—野辺山（小淵沢間は本数を減らして運休しており、野辺山—原市）—高尾間の上り線で復元のめが立った。これまでに遅延や止まらなかった。これで中央東線は、普通も含め全区間、通常通りのダイヤに戻る。特急あづさの始発

は上りが午前6時25分松本発下りが同7時5分復元。台風で被災した県内のJR線は、小海線が小海—野辺山（小淵沢間は本数を減らして運休しており、野辺山—原市）—高尾間の上り線で復元のめが立った。これまでに遅延や止まらなかった。これで中央東線は、普通も含め全区間、通常通りのダイヤに戻る。特急あづさの始発

は上りが午前6時25分松本発下りが同7時5分復元。台風で被災した県内のJR線は、小海線が小海—野辺山（小淵沢間は本数を減らして運休しており、野辺山—原市）—高尾間の上り線で復元のめが立った。これまでに遅延や止まらなかった。これで中央東線は、普通も含め全区間、通常通りのダイヤに戻る。特急あづさの始発



1873年(明治6年)創刊
 発行所
信濃毎日新聞社
 長野本社 〒380-8546
 長野市南興町 657番地
 電話 (0263) 236-3000編集236-3111
 営業236-3310広告236-3333
 松本本社 〒390-8585
 松本市中央 2丁目20番2号
 代表32-2200 電話32-2830
 営業32-2850 広告32-2860
 ©信濃毎日新聞社2019年



道路復旧 国が代行

権兵衛トンネルや市道「海野宿橋」

大規模災害復興法を適用

安倍晋三首相は25日の非常号を大規模災害復興法に基づく「非常災害」に指定し、上伊那郡南箕輪村の国道361号と東御市道「海野宿橋」の2カ所を含む全国6カ所の自治体

災害対策本部会議で、台風19号付近では路面が崩落。しな

の鉄道の線路をまたぐ海野宿橋は土台が損傷し崩落した。

橋は土台が損傷し崩落した。調査や仮復旧を経て、本復旧までの工事を国が行う。ともに完了時期は未定。同法に基づく権限代行は、通常の災害復旧事業と同様に費用の3分の2を国が負担する。残り

が、国が交付税措置するため実質的な地方負担はほぼない見通しという。

管理道路の復旧を、国が直轄事業として代行すると明らかにした。同法適用は2016年の熊本地震以来2例目。被害規模が大きく高度な技術が必要なため、県や市町村だけでは対応が困難と判断、国の主導により復旧を加速させる。

国土交通省によると、国が

地方自治体に代わって復旧工

事を担うのは長野県内では2

カ所。権兵衛トンネルの入り

台風19号被害対応の県内建設・土木業界

雨が降る中、道路脇の排水溝にたまつた泥を取り除く土木会社の従業員=25日、長野市穂保



公共事業削減や不況 就業者は減少・高齢化

国勢調査によると、県内の15年時点の建設業就業者数は8万500人余で、13万2300人余だった95年から4割近く減少。世代別では29歳以下の若手が1割に満たない一方、60歳以上が全体の約3割を占め、高齢化している。

県のまどめでは、県内の河川や道路で復旧工事が必要な箇所は各

切実な課題となる。

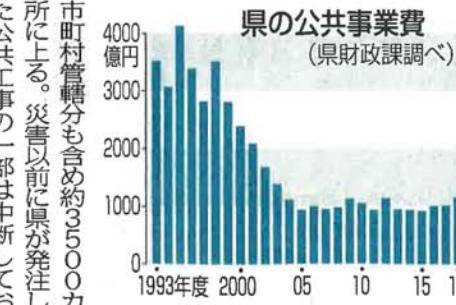
長野市篠ノ井にある災害ごみの仮置き場で重機を使って片付け作業に携わる土木工事の小山田組(長野市)の小山田雄治社長は「災害対応を最優先に態勢を整えていかないといけない」と強調。「被災者が早く日常生活を取り戻せるよう使命感を持って仕事をしている。

台風19号による県内被災地の現場で復旧作業に当たる県内の建設・土木関連会社が、厳しい人員態勢での対応を余儀なくされている。この20年余り、公共事業の削減や長期に及んだ不況で業界全体の産業規模が縮小。県によると、各地の復旧工事は年明けごろから本格化する見通しだが、深刻な人手不足や従業員の高齢化という課題を抱える各社は不安を募らせている。

復旧工事人手不足深刻

けいざい
信州発

県の公共事業費
(県財政課調べ)



松代建設工業(長野市)は、被災直後から長野市松代町で道路上の土砂の運搬や一帯の洗浄作業を市から受託。公共事業削減を受け、20年近くかけて半減させた従業員は現在20人余だ。湯本宣成社長は「人手が足りず、ほとんど休むこともなく働きづめ。以前のような体力はなく、疲弊している」と明かす。同業他社も同様の状況という。県によると、県の公共事業費は1998年の長野冬季五輪の開催事業が集中した95年度の4135億円をピークに減少傾向にあり、2015年度は923億円まで落ち込んだ。近年は防災対策を強化する政府の方針を背景に増加しているが、1千億円を上回る程度でかつてと比べると依然低水準で推移している。

佐久地方を中心に災害工事に当たる小宮山尚明会長も「面倒は人繋りが一番の課題」と危機感を口にしている。災害復旧を最優先に進めていく方針。年明けから本格化する大掛かりな工事は3年程度続く見通しという。

長野市篠ノ井にある災害ごみの仮置き場で重機を使って片付け作業に携わる土木工事の小山田組(長野市)の小山田雄治社長は「災害対応を最優先に態勢を整えていかないといけない」と強調。「被災者が早く日常生活を取り戻せるよう使命感を持って仕事をしている。

東信

座敷の上まで泥が入った小屋(左)の前で、取引先と連絡を取り合う西沢徳雄さん



義父(故人)が始めた鯉西に18歳で入社し35年。「今回ほどひどい増水は初めて」。それでも今回、外来魚として有害視されるアラックバスが流される——といった「プラス効果もあるかもしれない」と前を向く。「多くのお客様に楽しんでもらえるよう千曲川とまた踏ん張る」と話した。

千曲川の味 絶やさない

上田のつけば小屋

上田市の川魚料理店「鯉西」が千曲川河川敷で営むつけば小屋も台風19号で被災した。西沢徳雄社長(53)が「かつてない」と振り返るほど増水で座敷が水に漬かり、魚の水槽も流された。のどかな河川敷は工事車両が行き交う現場へと一変したが、「千曲川の味とロマンを絶やすわけにい

つかば小屋では毎年4~10月、アユやウグイ料理などを提供する。特に夏は上田の風物詩として市民や観光客に親しまれている。上小漁業協同組合(上田市)によると、か

つて上田から東御にかけてつけば小屋がひしめいたが、今めたのは12日午後2時ごろ。西沢さんが危機感を覚え始めたのは12日午後2時ごろ。上流の観測所で千曲川の水位が急上昇していた。みると川幅が増し「1時間に50mずつ上昇していたと思う」。その後風雨が強まり、小屋の軒先にある水槽にも水が迫った。従業員らと胴長をして、水槽のアユ120kgやカジカ20kgなどを小分けして移動。「『救出』しきれなかつた魚もいる」。午後7時ごろ、身の危険を感じて退避した。翌日。約100人を収容できる座敷に泥が上がり、厨戸房にも入り込んでいた。竹編組みも一部曲がつた。被害はざつと500万円。20日まで予定した営業を打ち切り、今は片付けに追われる。

西沢さん「2軒だけだ。見据えている。

台風で座敷に水 水槽も流され:

は鯉西など2軒だけだ。

西沢さんが危機感を覚え始めたのは12日午後2時ごろ。上流の観測所で千曲川の水位が急上昇していた。みると川幅が増し「1時間に50mずつ上昇していたと思う」。その後風雨が強まり、小屋の軒先にある水槽にも水が迫った。従業員らと胴長をして、水槽のアユ120kgやカジカ20kgなどを小分けして移動。「『救出』しきれなかつた魚もいる」。午後7時ごろ、身の危険を感じて退避した。翌日。約100人を収容できる座敷に泥が上がり、厨戸房にも入り込んでいた。竹編組みも一部曲がつた。被害はざつと500万円。20日まで予定した営業を打ち切り、今は片付けに追われる。

西沢さん「2軒だけだ。見据えている。

西沢さんが危機感を覚え始めたのは12日午後2時ごろ。上流の観測所で千曲川の水位が急上昇していた。みると川幅が増し「1時間に50mずつ上昇していたと思う」。その後風雨が強まり、小屋の軒先にある水槽にも水が迫った。従業員らと胴長をして、水槽のアユ120kgやカジカ20kgなどを小分けして移動。「『救出』しきれなかつた魚もいる」。午後7時ごろ、身の危険を感じて退避した。翌日。約100人を収容できる座敷に泥が上がり、厨戸房にも入り込んでいた。竹編組みも一部曲がつた。被害はざつと500万円。20日まで予定した営業を打ち切り、今は片付けに追われる。

西沢さんは「2軒だけだ。見据えている。

台風19号により被災して不通となっているJR小海線の小海(小海町)~野辺山(南牧村)間で復旧作業が続いている。JR東日本長野支社に

小海~野辺山間 運休続く

復旧工事中の小海線 観光にも影響



土台が崩落したJR小海線松原湖駅近くの線路=13日、JR東日本長野支社提供



復旧現場へ運ぶ砂利の積み込み作業=25日午後1時21分、松原湖駅

によると25日現在、同区間24.9kmで工事中なのは1カ所。順調に進めば11月上旬に全線が開通する見通しだ。一方、長引く運休により沿線自治体

の観光にも影響が出ている。復旧工事が続いている地点は松原湖駅(小海町)の南約300㍍の千曲川沿い。同社によると、増水した川の流れで線路下の土台が緩み、崩れたとみられる。25日は同駅

から現場へ砂利を運び、補強した土台の上に敷いていた。小海線の観光列車「HIGH RAIL(ハイレール)1375」も運転を見合わせている。野辺山駅前の野辺山観光案内所によると、例年この時季は見頃となつた紅葉を楽しもうと小海線で訪れる観光客でにぎわうが、案内所を訪れる人は数えるほど。周辺を散策するためのレンタル自転車の利用もほとんどないという。「悪天候も重なり、駅周辺は閑散としている。紅葉の見頃が終わる前に復旧してほしい」としている。

長野駅 待ちかねた再開

全線で運転を再開した北陸新幹線金沢行きは、25日前9時35分、長野市JR長野駅に乗り込む人たち



日常を取り戻す足掛かり

25日

飯山 2週間ぶり発着

約2週間ぶりに新幹線が発着したJR飯山駅

の改札

25日前9時24分 飯山市



長野市豊野町の衣料品店が無料提供している衣類。同市昭和小平TAから善意で寄せられた子ども服も含まれている。25日午後0時10分



全国の死者87人不明8人

大規模な土砂災害や浸水被害を引き起こした台風19号の影響で、25までの共同通信行方不明者は8人となつた。内閣府によると25日現在、37人不明者が、17人が避難所で生活。厚生労働省の集計で、死者は13都県の77人、災害関連死を含む。死者は87人、行方不明者は8人となつた。

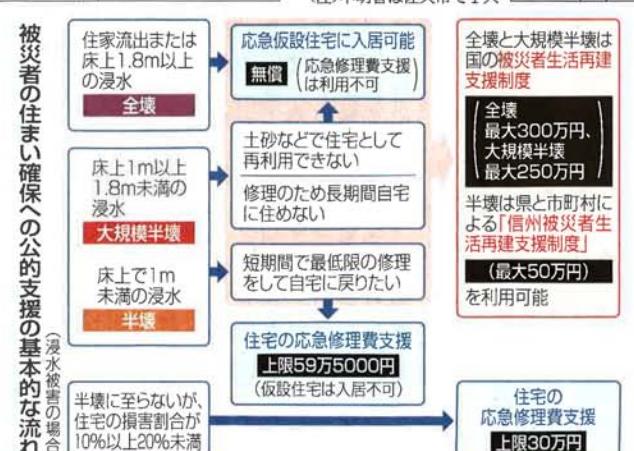
総務省消防庁によると、住宅被害は全平壌が15都道府県と東京都で解消されている。馬鹿は21都県3万3001棟、水は21都県3万4011棟と

| 県と長野市の公営住宅などの募集概要 | |
|---|--|
| 受付 第1回 10月29日まで 10月29日まで | |
| 期間 第2回 11月7日~13日 住戸が準備でき次第 | |
| 募集戸数 240戸 (第2回分を含む) 37戸 | |
| 受付窓口 時間 | |
| 長野建設事務所 午前9時~午後8時 市役所市民交流スペース 午前8時半~午後8時 他に長野市の窓口でも受け付ける 柳原支所 午前9時~午後5時15分 佐久、上田、諏訪、伊那、飯田、木曾、松本、大町、北信の各建設事務所 午前9時~午後5時15分 佐久、上田、北信は午前の午前9時~午後5時15分も開設 千曲支所 午前9時~午後5時15分 古里支所(土日、祝日のみ) 午前9時~午後5時15分 | |

| 台風19号による県内の人的被害 | |
|------------------------|----|
| (25日前10時時点、県災害対策本部まとめ) | |
| 市町村 | 死亡 |
| 長野市 | 2 |
| 上田市 | 1 |
| 須坂市 | 6 |
| 中野市 | 1 |
| 飯山市 | 1 |
| 佐久市 | 1 |
| 千曲市 | 5 |
| 東御市 | 1 |
| 川上村 | 1 |
| 佐久穂町 | 2 |
| 軽井沢町 | 1 |
| 箕輪町 | 1 |
| 坂城町 | 1 |
| 合計 | 47 |

| 台風19号による県内の避難所・避難者数 | |
|------------------------|---------------------|
| (25日前10時時点、県災害対策本部まとめ) | |
| 市町村 | 避難所 |
| 長野市 | 13746 |
| 上田市 | 39 |
| 岡谷市 | 5 |
| 須坂市 | 218 |
| 中野市 | 382 |
| 飯山市 | 407 |
| 佐久市 | 130 |
| 千曲市 | 1310 |
| 東御市 | 31 |
| 小海町 | 45 |
| 川上村 | 44 |
| 箕輪町 | 1 |
| 筑北村 | 22 |
| 南牧村 | 1 |
| 南相木村 | 1 |
| 北相木村 | 39 |
| 佐久穂町 | 48 |
| 軽井沢町 | 21 |
| 立科町 | 431 |
| 青木村 | 11 |
| 長和町 | 150 |
| 辰野町 | 230 |
| 箕輪町 | 6 |
| 飯島町 | 1 |
| 南箕輪村 | 1 |
| 麻績村 | 33 |
| 筑北村 | 44 |
| 坂城町 | 11 |
| 小布施町 | 3128 |
| 高山村 | 11 |
| 木島平村 | 1 |
| 野沢温泉村 | 1010 |
| 信濃町 | 14 |
| 飯綱町 | 44 |
| 栄村 | 22 |
| 合計 | 1897799533340339731 |

(注)不明者は佐久市で1人



見つかった男性の遺体が、17日

140万円所で、JR静岡御殿場市は、駿河湾

17日に用水路で流され方不明になつて、いた同市の40代男

者と判断したと明らかにし

た。

国土交通省によると、土砂

た。

特急あづさの28日運行再開が決まり、松本、諏訪地方の利用者から25日、歓迎する声が上がった。秋の書き入れ時

[一面参照]

待望の鉄路復旧歓迎 あづさ28日再開 松本や諏訪地方

に寝足が遠いいたる観光地回、あづさで東京都内に帰る車はまだ先になると予約でいっぱい。バスは予約でいっぱい。沿線の観光関係者らからは落込んだ行楽客回復への期待とともに、災害のマイナスイメージ払拭に入れたとの声が聞かれた。

「紅葉シーズン間に合つた」と話すのは、北佐久郡軽井沢町の軽井沢観光協会事務局長の工藤朝美さん。町内のホテルは直接の被害は免れたが、直後は数百のキャンセルが出たところも。高齢のリビングや海外客は新幹線指定席を利用する事が多いいい、町内のあるホテル関係者は「指定席の復活が大きい」と好影響を期待

松本市に単身赴任中で月1線を乗り継いでいるが、「あづさなら一本で行けますか」と都内の自宅から高速バスで通学。あづさが運休している間はバスは予約でいっぱい。バスは予約でいっぱい。沿線の観光関係者らからは落込んだ行楽客回復への期待とともに、災害のマイナスイメージ払拭に入れたとの声が聞かれた。

6時間ぐらいかかり変だったと運行再開を喜んだ。同市浅間温泉の「ホテルおもと」は台風19号の接近前からギンセルが相次ぎ、25日までに延べ400~450人以上った。山本造司社長(66)は「台風が去つた後もギンセルが続いた。早く通常の状態に戻つてほしい」と高地・中の湯温泉旅館を経営する小林清さん(65)は今年は例年より紅葉が遅れ気味といい、上高地八ヶ岳観光協会(茅野市)会長の浦野岳孝さん(59)は「元に戻つてひと安心」。運休の影響で宿泊ギンセルが相次いだが、「高山帝の山小

ぐる八ヶ岳観光協会(茅野市)

相次いだが、「高山帝の山小

ぐる八ヶ岳観光協会(茅野市)

[11月の3連休に期待したい]

と話した。

JR東日本松本車両センター

で出番を持つ特急あづさの車両25日、松本市

[元に戻つてひと安心]

[JR東日本松本車両センターで出番を持つ特急あづさの車両25日、松本市]

<div data-bbox="118 2